

★★☆*****☆☆★
近畿アグリレター Vol.391 発行 農林水産省近畿農政局 2021.6.11

☆☆*****☆☆★

- ・近畿農政局ホームページ <https://www.maff.go.jp/kinki/>
- ・農林水産省フェイスブック <https://www.facebook.com/maffjapan>
- ・近畿農政局フォトレポート <http://www.maff.go.jp/kinki/photo/index.html>
- ・農林水産省広報誌 a f f <https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>
- ・広報紙新鮮mini情報 <http://www.maff.go.jp/kinki/pr/magazine/mini/index.html>

★新型コロナウイルス感染症関係

◆新型コロナウイルス感染症に係る相談窓口

東京都、京都府、大阪府、兵庫県など9都道府県を対象とした緊急事態宣言は、6月20日まで、あと一週間となります。
近畿農政局では、新型コロナウイルスに関する農業者や食品事業者等からの相談に適切に対応するため相談窓口を設けるなどの対応を行っております。

担当：近畿農政局企画調整室

連絡先（直通）：075-414-9036、075-414-9037（平日9:00～17:00）

◆目次◆

1. 農政の動き

◆みどりの食料システム戦略

◆新たに17県492品目がデータベース「うちの郷土料理」に仲間入り！

◆「新しい農村政策の在り方に関する検討会」及び「長期的な土地利用の在り方に関する検討会」中間とりまとめの公表について

◆野菜の生育状況及び価格見通し（令和3年6月）について

2. お知らせ

<募集・案内>

◆令和3年度「飼料用米多収日本一」の募集を開始します

◆スマートアグリで関西を元気に！～スマート農業応援！セミナーを開催～

◆令和3年度「農業技術功労者表彰」候補者の募集開始について

◆「国際果実野菜年2021」おすすめレシピ・食べ方の募集について

3. フォトレポート

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々などを写真で紹介

1. 農政の動き

◆みどりの食料システム戦略

我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化などの政策課題に直面しており、将来にわたって食料の安定供給を図るためには、災害や温暖化に強く、生産者の減少やポストコロナも見据えた農林水産行政を推進していく必要があります。このような中、健康な食生活や持続的な生産・消費の活発化やESG投資市場の拡大に加え、諸外国でも環境や健康に関する戦略を策定するなどの動きが見られます。今後、このようなSDGsや環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、我が国の食料・農林水産業においてもこれらに的確に対応し、持続可能な食料システムを構築することが急務となっています。このため、農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

◆新たに17県492品目がデータベース「うちの郷土料理」に仲間入り！

農林水産省では、地域固有の多様な食文化を保護・継承していくため、都道府県別に30品目程度の郷土料理を「うちの郷土料理～次世代に伝えたい大切な味～」としてデータベース化し、情報発信を行っています。今回、17県492品目の情報を追加しましたのでお知らせします。

近畿からは、滋賀県のふなずしほか29品目、奈良県の柿の葉寿司ほか29品目、和歌山県のおかいさん（茶がゆ）ほか26品目が新たに仲間入りしています。

※郷土料理データベース「うちの郷土料理」の概要

農林水産省では、全国各地の郷土料理を次世代に継承していくことを目的として、令和元（2019）年度からデータベース「うちの郷土料理～次世代に伝えたい大切な味～」を公開しています。

今回、17県の郷土料理492品目の情報を追加し、公開済みの情報と合わせて掲載情報は27道府県786品目となりました。

郷土料理の情報に加え、「AREA STORIES（エリアストーリーズ）」として、地域の風土や食文化に関する情報を、動画も交えて掲載しています。

なお、令和3（2021）年度末までに47都道府県の情報掲載を完了する予定です。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/wasyoku/210604.html>

◆「新しい農村政策の在り方に関する検討会」及び「長期的な土地利用の在り方に関する検討会」中間とりまとめの公表について

農林水産省は、農村の振興に関する施策や人口減少社会の到来等に対応した多様な土地利用方策などを検討するため、「新しい農村政策の在り方に関する検討会」及び「長期的な土地利用の在り方に関する検討会」を昨年5月から開催しています。この度、両検討会の中間とりまとめとして、「地方への人の流れを加速化させ持続的低密度社会を実現するための新しい農村政策の構築」が取りまとめられ、公表されました。

1. 趣旨

令和2年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」では、農村の持つ多面的機能を活かしながら、農村を次の世代に継承していくために、「しごと」「暮らし」「活力」の3つを柱とし、関係府省・地方自治体・事業者が連携して施策をフル活用し、一体的に講ずる「地域政策の総合化」を推進することとしています。

基本計画の下で施策を具体化するに当たり、幅広い視点から検討を行うため、「新しい農村政策の在り方に関する検討会」及び「長期的な土地利用の在り方に関する検討会」を設置し、議論を行ってきました。今般、これまでの検討会における議論の中間とりまとめとして、「地方への人の流れを加速化させ持続的低密度社会を実現するための新しい農村政策の構築」が取りまとめられました。

2. 概要

「中間とりまとめ」では、以下の項目に沿って、基本的な考え方や施策の方向性等を示しています。詳細については添付資料をご覧ください。

1. はじめに
2. しごとづくりの施策
3. 暮らしの施策
4. 土地利用の施策
5. 活力づくりの施策
6. 関係府省で連携した仕組みづくり

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/noukei/210604.html>

◆野菜の生育状況及び価格見通し（令和3年6月）について

農林水産省は、東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格見通し（令和3年6月）について、主産地等からの聞き取りを行った結果を公表しました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/seisan/engei/210531.html>

野菜の入荷量と価格の見通し（大阪市中央卸売市場）についてはこちら

<https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/engeitokusan/yasai/kakaku.html>

2. お知らせ

<募集・案内>

◆令和3年度「飼料用米多収日本一」の募集を開始します

農林水産省及び一般社団法人日本飼料用米振興協会は、飼料用米の生産に取り組む農家の生産技術の向上を図るため、「飼料用米多収日本一」コンテストを開催しています。

この度、令和3年度の募集を開始しますのでお知らせします。

1. 趣旨

飼料用米生産農家の生産に係る技術水準の向上を図るため、平成28年度から「飼料用米多収日本一」コンテストを開催し、生産技術の面から先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介するものです。

2. 対象者

令和3年産の飼料用米生産者で、次の要件を満たすこと。

- ・飼料用米の作付面積が、おおむね1ha以上（区分管理に限る）
- ・飼料用米の多収化、生産コスト低減等に取り組むこと

3. 募集期間

令和3年6月10日（木曜日）から令和3年7月30日（金曜日）まで

4. 表彰

表彰区分ごとに、審査委員会で審査し優秀と認められた方々に褒賞を授与します。

また、近畿農政局では下記の褒賞のほか近畿管内の応募者の中から近畿農政局長賞を選考します。

表彰区分

- ・単位収量の部
- ・地域の平均単収からの増収の部

褒賞

- ・農林水産大臣賞
- ・政策統括官賞
- ・全国農業協同組合中央会会長賞
- ・全国農業協同組合連合会会長賞
- ・協同組合日本飼料工業会会長賞
- ・日本農業新聞賞

詳しくはこちら（近畿農政局のホームページ）

<http://www.maff.go.jp/kinki/seisan/sinko/201605.html>

◆スマートアグリで関西を元気に！～スマート農業応援！セミナーを開催～

近畿農政局及び近畿総合通信局は、近畿情報通信協議会とともに「スマートアグリで関西を元気に！」をテーマに「スマート農業応援！セミナー」をオンラインで開催します。

本セミナーでは、ドローンやローカル5Gといった新しい技術を農業に生かすスマートアグリに取り組む全国の地方公共団体や企業の活動をヒントに、関西の農業の「これから」を一緒に考えます。

◇開催日時、方式等

令和3年7月13日（火曜日）13時30分～16時30分
オンライン開催（参加費無料、Cisco Webex（定員100名）、YouTube（ライブ配信、期間限定公開））
参加方法等、詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ（チラシ））
https://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyo/attach/pdf/210608_20-1.pdf

◇プログラム

(1) 基調講演

「スマート農業が目指す事」総務省地域情報化アドバイザー 蒲谷 直樹 氏（フューチャアグリ株式会社）

(2) スマートアグリに取り組んでいる地方公共団体・企業による活動紹介

「最先端の田舎暮らしへ #しあわせしまんとせいかつ」高知県四万十町企画課 坂本 仁氏、竹村 俊斗 氏

「中山間地域水耕栽培におけるスマート農業技術・機械の一貫体系の導入による作業支援と省力・増収・高品質化の実証」京都府農林水産技術センター農林センター 安田 規良 氏

「高品位ブドウ生産に向けた、スマートグラスを活用した熟練農業技術者技術の『見える化』」日本電気株式会社 公共ソリューション事業部 平山 智章 氏

(3) 近畿総合通信局・近畿農政局による取組紹介

(4) パネルディスカッション

コーディネーター（地域情報化アドバイザー 蒲谷 直樹 氏）、パネラー（(2)の3団体）

◆令和3年度「農業技術功労者表彰」候補者の募集開始について

農林水産省は、農業その他関連産業に関する研究開発の一層の発展及び農業技術者の一層の意欲向上に資するため、公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会と共同で、令和3年度「農業技術功労者表彰」の候補者の募集を6月4日から開始しました。

1. 趣旨

農林水産省は、農業その他関連産業に関する研究開発の一層の発展及び農業技術者の一層の意欲向上に資するため、公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会と共同で、農業技術の研究や普及指導などに顕著な功績があった者に対する表彰を平成24年度より実施しています。

2. 表彰の対象

原則として、令和3年4月1日時点において40歳以上であり

- (1) 農業技術の研究又は普及指導に関する業務
- (2) 農業経営関係の研究又は改善指導に関する業務

に従事している者を対象とします。

3. 表彰の方法

農林水産技術会議会長賞として、顕著な功績のあった者（原則6名以内）に対して表彰します。

表彰式は、令和3年12月に開催を予定しています。

* 表彰式については、状況によって時期等が変更になる場合がございます。

4. 応募方法

応募希望者は、必要事項を記載した申請書類を、推薦機関を通じて公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会に提出していただきます。

推薦機関一覧、申請書様式のダウンロード、記入要領等応募方法の詳細は、以下のURLを御覧ください。

<公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会>

<https://www.jataff.or.jp/project/kourou/index.html>

応募期限は、令和3年8月6日（金曜日）（当日消印有効）です。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bio_s/210524.html

◆「国際果実野菜年2021」おすすめレシピ・食べ方の募集について

